

## タームシート(共同研究開発契約(AI)用)

作成日: ●年●月●日

作成者: ●●●●

|                              |   |
|------------------------------|---|
| 当事者(前文)<br>(解説資料の 1<br>頁)    | X社(甲)   |
|                              | Y社(乙)   |
|                              | 当事者について、【ケース1】 X社が日本企業、Y社が中国企業、【ケース2】 X社が中国企業、Y社が日本企業という2つの状況を想定  |
| 目的<br>(解説資料の 10<br>頁-11 頁)   | <p>① 共同研究開発</p> <p>【研究テーマ】</p> <p>甲の AI 技術を適用した介護施設における被介護者の見守り用高機能カメラシステム(「本見守りカメラシステム」)に利用する学習済みモデル(「カスタマイズモデル」)の開発</p> <p>【研究の目的】</p> <p>本学習済みモデルを利用した本見守りカメラシステムの開発および製品化</p> <p>② 本学習済みモデルと本見守りカメラシステムを API 連携するためのシステム(「本連携システム」)の共同開発</p> <p>【成果物】</p> <p>i 本学習済みモデル(カスタマイズモデル)、ii 本連携システム、iii 本連携システムに関連するドキュメント(本ドキュメント)</p> |
| 役割分担<br>(解説資料の 15<br>頁-16 頁) | <p>甲の役割(「甲業務」):</p> <ul style="list-style-type: none"><li>対象データの前処理</li><li>対象データのアノテーション</li><li>本学習用データセットの作成</li><li>対象データによる本学習済みモデルの生成</li><li>本連携システムの開発および本ドキュメントの作成</li></ul> <p>乙の役割(「乙業務」):</p> <ul style="list-style-type: none"><li>対象データの提供</li><li>本学習済みモデルの精度の向上に必要な知見(ノウハウを含む)の提供</li></ul>                           |

|  |  |
|--|--|
|  | <p>本学習済みモデルおよび連携システムの性能評価</p> <p>・不測の事態がある場合に、双方協議、協力義務あり</p>  |
| <p>作業期間</p> <p>(解説資料の 19 頁-2 頁)</p>            | <p>●●年●●月●●日～●●年●●月●●日</p>   |
| <p>甲の義務</p> <p>(解説資料の 20 頁-22 頁)</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 善管注意義務</li> <li>・ 完成義務の不存在および成果・結果の非保証</li> </ul>   |
| <p>乙の義務</p> <p>(解説資料の 20 頁-22 頁)</p>           | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 善管注意義務</li> <li>・ リバースエンジニアリング、再利用モデル生成行為の禁止</li> </ul>   |
| <p>再委託</p> <p>(解説資料の 24 頁)</p>                 | <p>乙の事前書面承諾が必要</p>   |
| <p>成果物の提供方法</p> <p>(解説資料の 26 頁-28 頁)</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>i 本学習済みモデル<br/>提供方法:一定期間(確認期間)中、甲サーバ上に API 提供可能な状況で置く</li> <li>ii 本連携システム<br/>提供方法:ソースコードを乙サーバに甲がインストール</li> <li>iii 本ドキュメント<br/>提供方法:PDF 形式により提供</li> </ul>  |
| <p>対価及び支払い方法</p> <p>(解説資料の 17 頁-18 頁、70 頁)</p> | <p>① 本学習済みモデルに関する委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●●円(外税)を以下のとおり分割して支払う</li> <li>本契約締結日から 7 日以内●●円</li> <li>乙による成果物確認日から 7 日以内●●円</li> </ul> <p>② 本連携システムおよび本ドキュメントに関する委託料</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●●円(外税)を以下のとおり分割して支払う</li> <li>本契約締結日から 7 日以内●●円</li> <li>乙による成果物確認日から 7 日以内●●円</li> </ul> <p>・対価を追加する必要がある場合、契約変更の協議、協力義務あり</p> <p>・対価支払うための必要な手続きがある場合、乙が実行義務、甲が協力義務あり</p> |

|   |   |
|---|---|
| <p>対象データ等<br/>(解説資料の 29<br/>頁-31 頁)</p>                         | <p>乙が提供するデータ = 対象データ<br/>対象データ + 乙が提供する資料等 = 対象データ等</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 対象データの内容・量・提供方法は別紙で特定</li> <li>➤ 乙:対象データの提供義務<br/>対象データ等の正確性等につき非保証</li> <li>➤ 甲:対象データ等の正確性等の確認義務無し<br/>対象データの機密保持・管理義務、目的外使用禁止<br/>→ 本契約終了後も 3 年間存続</li> <li>➤ 対象データ等に誤りまたは提供遅延があった場合<br/>→ 甲は完成時期の遅延、不適合につき免責</li> </ul> |
| <p>本学習用データ<br/>セット<br/>(解説資料の 32<br/>頁-33 頁)</p>                | <p>対象データを甲が本共同開発のために整形または加工したデータ(対象データの派生物) = 本学習用データセット</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 甲:乙に対する開示義務無し</li> <li>➤ 甲:本件業務終了後に削除<br/>ただし、成果物の利用に関する契約を締結した場合は上記は不適用</li> </ul>   |
| <p>秘密保持<br/>(解説資料の 34<br/>頁-35 頁)</p>                           | <p>従前の PoC 契約における秘密保持条項を上書き(ただし対象データを除く)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 秘密情報:無限定(ただし、対象データを除く)</li> <li>➤ 公表可能:研究開発開始の事実</li> <li>➤ 存続期間:本契約終了後も 3 年間存続</li> </ul>  |
| <p>個人情報<br/>(解説資料の 38<br/>頁-40 頁)</p>                           | <p>対象データに個人情報が含まれる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 乙:日本及び中国の個人情報保護法上必要な手続きを履践したことの保証</li> <li>➤ 乙:事前明示義務</li> <li>➤ 甲:日本及び中国の個人情報保護法上必要な手続きを履践する義務</li> </ul>  |
| <p>本件成果物等の<br/>知的財産権の帰<br/>属、利用条件<br/>(解説資料の 41<br/>頁-48 頁)</p> | <p>① 著作権の帰属</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 本連携システムおよび本ドキュメント:委託料全額の支払いと同時に乙に移転</li> <li>➤ それ以外:甲に単独帰属。ただし、甲に倒産リスクが生じた場合、乙は無償譲渡を請求可</li> </ul>   |

|  |   |
|--|---|
|  | <p>② 著作権を除く知的財産権(特許権等)の帰属</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 発明者主義</li> </ul> <p>③ 本件成果物等の利用条件</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 本学習済みモデル:別途甲乙間で定める利用契約による</li> <li>➤ 本連携システムおよび本ドキュメント<br/>:甲による保守・運用・追加学習の目的での利用を無償許諾</li> </ul> |
| <p>損害賠償<br/>(解説資料の 52<br/>頁-53 頁)</p>                          | <p>乙→甲の損害賠償請求権に関する制限</p> <p>質的制限:現実に発生した直接かつ通常 of 損害に限定<br/>特別損害(含、逸失利益)は除外</p> <p>量的制限:本契約の委託料が上限</p> <p>両制限とも甲が故意重過失の場合を除く<br/>/又は、双方とも相手が契約違反/違反する恐れがある場合、差止め、予防および原状回復の請求とともに**金額の違約金を請求できる。前記違約金は損失を補填できない場合、損賠賠償の追求可能</p>                         |
| <p>有効期間<br/>(解説資料の 58<br/>頁)</p>                               | <p>契約締結日から委託料の支払日または成果物の確認完了日のいずれか遅い日まで</p>   |
| <p>準拠法<br/>(解説資料の 60<br/>頁-64 頁)</p>                           | <p>日本法/又は被告地の法律(日本法又は中国法)/又は主に開発を行う場所所在地の法律(日本法又は中国法)</p>   |
| <p>裁判管轄<br/>(解説資料の 60<br/>頁-64 頁)</p>                          | <p>● 地方裁判所/又は中国●● 人民法院/又は日本国/中国/第三国・地域の仲裁機関</p>   |
| <p>その他<br/>(解説資料の 23<br/>頁、54 頁、56-57<br/>頁、59 頁、65<br/>頁)</p> | <p>責任者の選任および連絡協議会、OSS の利用、権利義務譲渡の禁止、解除、存続条項、協議解決</p>  |